

香川の縫製技術がブラジルのコロナ医療従事者を守る！ ウイルス防護ガウンを地球の裏側へ

国際協力機構（JICA）は10月15日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 案件化調査」において株式会社ワイケーエス（香川県坂出市、楠井 秀伸代表取締役社長）が提案する「ブラジル国ウイルス防護アイソレーションガウン導入に係る案件化調査」を採択しました。

本調査の対象国であるブラジル国は、COVID19の感染者数が世界第三位であり、COVID19の感染が拡大している国の一つです。中でも、医療防護服等が不足していることから医療従事者への感染が急増し、世界最多となっており、深刻な状況となっています。

提案企業である株式会社ワイケーエスは、OEMでシャツ等を製造してきた高い縫製技術を活かして、ウイルス防護性の高い生地を使用したアイソレーションガウンを開発しました。ウイルス防護性の高いアイソレーションガウンをブラジル国に導入することで、医療従事者の感染者減少に貢献することが期待されています。



ウイルス防護性の高い医療用アイソレーションガウン



「神は細部に宿る技術」
機械ではできない微調整を手作業で行う

本調査は、ブラジル国においてウイルス防護アイソレーションガウンの導入に向けて、製品の現地適合性の調査や市場分析調査等を通じてビジネスモデルの策定を目指す調査です。

本事業は、「案件化調査」として実施されます。「案件化調査」は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたものです。2021年度第一回は本年6月に公示を行い、17件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）案件化調査（中小企業支援型）2021年度第一回公示の採択結果について
 URL：https://www.jica.go.jp/chotatsu/bmfs/2021/ku57pq00002n972e-att/210610_result_02.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 四国 業務課 内島、多田、高野、山本
 TEL 087-821-8834 e-mail：Uchijima.Mitsutaka@jica.go.jp
Tada.Atsushi2@jica.go.jp
Kono.Shota@jica.go.jp
Yamamoto.Rie@jica.go.jp